

第2期新させぼっ子未来プラン



佐世保市が目指す姿

子どもを安心して生み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまち

子育てしやすいまちを実現する3つの柱

①母子保健の推進と安心な育児環境の充実

安心して妊娠や出産、子育てができるよう切れ目のない支援を行い、児童虐待を未然に防止するなど育児不安の軽減に取り組みます。また、子育て家庭の経済的支援を充実させます

②地域での子どもと子育ての支援

地域の子育て支援を充実させ、地域全体で支え合える環境づくりを行います

③幼児教育・保育の充実

幼児教育・保育の量を確保しながら質を向上させ、市民のニーズに合ったサービスを展開します

具体的なプランの内容など、詳しくは右の画像からご覧いただけます



特集

第2期新させぼっ子未来プランを策定

子育てしやすいまちを目指して

本市では、子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまちを目指し、次世代の子どもたちや子育てを支援しています。今回の特集では、本年4月に策定した「第2期新させぼっ子未来プラン」の概要や、身近な地域での子育て支援の取り組みなどについてお知らせします。

子育てしやすいまちを実現させる

「新させぼっ子未来プラン」

本市では、心豊かな人を育むまちを目指して平成27年に「新させぼっ子未来プラン」を策定し、子ども・子育てに係るさまざまな施策や事業に取り組んできました。しかし、少子化や核家族化、女性の社会進出に伴う共働き家族の増加などによって子どもを取り巻く環境は大きく変化し、これまで以上に子ども・子育て支援の充実が求められるようになってきたため、プランの見直しを行い、本年4月から新たに策定した「第2期新させぼっ子未来プラン」を推進しています。

地域のニーズや実情に合わせた

プランの見直し

プランを見直すに当たっては、地域のニーズや子ども・子育てに関する実情を把握するため、市民アンケートや関係者へのインタビューなどを行いました。その結果、共働き家族の増加や生活様式の多様化など、子どもを取り巻く

環境が大きく変化していることが分かりました。そうしたことを背景として、子育ての悩みを誰にも相談できず孤立してしまっている人がいること、身近な地域で相談できる相手や助け合う機会が必要なことなどの課題が明らかになりました。

また、子育てに経済的な負担を感じている人が増えたり、社会変化によって子どもの放課後の過ごし方が多様化したりしていることも分かりました。

このほか、行政には年度途中の保育所等の待機児童の解消や幼児教育・保育の質の向上も求められており、本市では、保護者や子ども・子育て支援関係者、学識経験者などを委員とする「佐世保市子ども・子育て会議」で意見を聞きながら、プランの見直しを進めていくこととしました。

本市の子育てを支える3つの柱

同会議の意見等を踏まえ、新しいプランでは、①母子保健の推進と安心な育児環境の充実②地域での子どもと子育ての支援③幼児教育・保育の充実を柱として、各種事業に取り組んでいくこととしました。本市が目指す子育てしやすいまちを実現するためには、行政だけでなく市民や事業者などによる子育て支援が必要となります。次ページ以降では身近な地域での子育て支援の取り組みについて紹介します。

各地域での子どもの見守り活動



本市では昨年、地域の方をはじめ、警察署や道路管理者などの関係機関と連携し、保育所等における散歩道の安全点検を行いました。また、小・中学校に通う子どもたちの通学路等の点検を適宜行い、子どもたちの安全・安心な暮らしを見守っています。そのほか、地区自治協議会や町内会等でも朝の見守り活動、夜間の補導パトロールなどの取り組みが行われており、放課後には地区公民館に集まり勉強をする「地域塾」を行っている地域もあるなど、関係機関だけでなく地域全体で子どもたちの成長をサポートしています。

☎子ども支援課、学校保健課、コミュニティ・協働推進課
☎24-1111

子ども食堂



「子ども食堂」は、子どもが1人でも安心して訪れることができ、ほっとできるみんなの居場所です。食事を提供するだけでなく、子どもたち同士や地域のさまざまな大人たちと触れ合うことができる交流の場となっており、まちづくりの拠点として全国に広がっています。市内でも11カ所の子ども食堂があり、各団体が活動されています。子ども食堂の取り組みなど、詳しくはながさき子ども食堂ネットワークのホームページをご覧ください。

子ども食堂の取り組みなどは右の画像からご覧いただけます



☎ながさき子ども食堂ネットワーク ☎090-5947-1943

地域子育て支援センター



「地域子育て支援センター」は、子育て中の親子と妊婦を対象とした出会いと交流の場を提供する施設です。市内には10カ所の支援センターがあり、子育て相談や育児講座、子育て支援講座などを行っています。交流を通して、親同士の支え合いや子どもたちの成長の場所として多くの人々が利用しているほか、先輩ママたちの話など妊娠中の方の支えの場所としても利用されています。また、市内に37カ所ある「認定こども園」では、就学前の親子を対象とした「親子広場（園庭・園舎開放）」や、各施設の特色に応じた相談事業なども行われています。各支援センターで毎月予定されている催しなどは市ホームページにまとめて掲載していますので、どうぞご覧ください。

※詳しくは各施設にお尋ねください。

支援センターの催しは右の画像からご覧いただけます



【各地域子育て支援センター】

| 実施場所 | 住所 | 電話番号 |
|-------------------|------------------|---------------|
| 東部子育て支援センター | 広田 2丁目 1-1 | 39-4002 |
| 中部子育て支援センター | 稲荷町 2-25 | 32-1903 |
| 北部子育て支援センター | 上相浦町 5-13 | 47-3329 |
| 幼児教育センター | 山祇町 387 | 31-0550 |
| 子ども発達センター | 常盤町 6-1 サンクル 4番館 | 23-3945 |
| 日野子育て支援センター | 日野町 780-5 | 28-3264 |
| 菟ヶ丘幼児園地域子育て支援センター | 黒髪町 2-10 | 34-4188 |
| おはし子育て支援センター | 吉井町橋川内 481-3 | 64-3525 |
| 親子ひろば「よんぶらこ」 | 本島町 4-15 3階 | 080-1730-0181 |
| ゆりかごくらぶ | 世知原町栗迎 120-26 | 76-2246 |

「佐世保市陣痛タクシー」制度を始めています

陣痛が始まった妊婦の方を病院まで送り届ける際のタクシー利用料金の一部を助成する制度を始めています。このサービスは、近くに支援者がいないなど妊婦がいざという時の安心のために登録しておくもので、研修を受けた乗務員が安全に病院へ送り届けます。



- 対象** ことし4月1日以降に母子健康手帳が交付された妊婦、本市に住民登録があり事前登録されている妊婦、近くに支援者がいない妊婦、支援者の出張等によって1人でいることが多い妊婦 など
- 内容** 陣痛時の通院にかかるタクシー利用料金を助成(上限2,000円)
※上限を超える金額は自己負担となります。
- 申込** 「佐世保市陣痛タクシー登録申請書」に必要事項を明記して、直接子ども保健課へ
※申請書の配布場所など、詳しくはお尋ねください。
※利用回数は1回だけ。出産に至らなかった場合も1回とみなします。

【利用方法】

- 1 申し込みをした後、タクシー会社から連絡があり、事前打ち合わせなどを行います
- 2 陣痛が始まったら、出産予定の病院に本人が電話して受診の指示を受けます
- 3 受診の指示があったら、登録しているタクシー会社に電話します
- 4 タクシーが安全に病院へお送りします
- 5 降車する際に「陣痛タクシーチケット」を乗務員に渡します。自己負担が生じた場合は、残りの料金の支払いをお願いします

☎子ども保健課 ☎24-1111

ファミリーサポートセンター佐世保

「ファミリーサポートセンター」は、子育て中で援助が必要な人(依頼会員)と援助を行う人(提供会員)、子育てしながら援助もしたい人(両方会員)がそれぞれ登録しています。依頼会員が「残業などで保育所のお迎えができないとき」などに提供会員がお手伝いをする支援サービス

です(有料)。気軽にご利用ください。
※登録方法など詳しくはホームページをご覧ください。
ホームページは右の画像からご覧いただけます



☎ファミリーサポートセンター佐世保 ☎42-1848



子育てお役立ち情報

ままんちさせば



不安や悩みの多い妊娠中から産前産後、子育て期まで、ママやパパが安心して生活できるように、「母子保健コーディネーター」や「ママサポーター」などの専門スタッフが、電話相談や家庭訪問などを行います。気軽にご相談ください。

日程 平日 8時30分～17時15分

場所 中央保健福祉センター 4階 子ども保健課内
 ☎ままんちさせば ☎25-9778

産後ケア

退院後も授乳などのサポートを助産師等の専門スタッフから受けられる「産後ケア」事業を産婦人科医院や開業助産師に委託して実施しています。産後ケアをうまく利用しながら、不安や悩みを解消しましょう。
 対象 本市に住民登録があり、出産後2カ月以内の人
 ※実施機関など詳しくはお尋ねください。

☎子ども保健課 ☎24-1111

子育て応援ホームページ すくすく SASEBO



子育て世代の目線を大切にしたい情報を発信するため、子育て応援ホームページ「すくすく SASEBO～みんな de 子育て応援ひろば～」を開設しています。親子で楽しめるイベントやお出掛け、遊び場、行政サービスなどの情報を掲載しています。また、実際の子育て支援の活動や取り組みなどを取材した「子育てすくすくレポート」も紹介していますので、皆さんの子育てにどうぞ活用ください。

すくすく SASEBO は右の画像からご覧いただけます



☎子ども政策課 ☎24-1111

子育て支援のための寄付を受け付けています

本市では「子ども未来基金」と「交通遺児救済基金」の2つの基金を設けており、皆さんからいただいた寄付金は子育て支援のためのさまざまな事業に活用しています。皆さんからの温かい気持ちをお待ちしています。

子ども未来基金

子育てしやすいまちづくりのための取り組みに活用しています

イベント

毎年5月の児童福祉週間行事として、親子で遊べるイベント「させばわんぱくひろば」の開催に活用しています

公園整備

佐世保公園内「きららパーク」の大型遊具の修繕に活用しています

交通遺児救済基金

交通事故で親を亡くされた子どもの健やかな成長のため、学校への進学時などに支給する支援金に活用しています

申込 子ども政策課で随時受け付けています

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

☎子ども政策課 ☎24-1111



子育てアイデアで地域の子どもたちやママを支援

他人を認め、尊重し合い、 みんなが安心して暮らせる地域を目指して

器の会 迎 純子さん



令和元年度「子育てアイデア実現化奨励金事業」を活用し、崎辺地区に住む子どもやお母さんを対象に、高齢者と一緒に料理を作り食事会を行う「多世代交流イベント」を実施した迎さんに話を伺いました。

私は普段、1歳未満の子どもを育てるお母さんを対象とした育児の悩みや不安を気軽に話し合う「ママ・ほっと♥(0歳の会)」や、崎辺地区で一人暮らしの高齢者を対象とした認知症予防のための料理教室「器の会」を地域の方と一緒にしています。

活動する中で話を伺うと、若い世代や転勤で引っ越してきたお母さんが子育てに困ったときに相談できる相手がいらないこと、地域で孤立している家族がいること、小・中学生が地域で交流する機会が減ってきていることなどに気付きました。

一方で、元気な高齢者の中には地域での役割を探している方もいて、これらをどうにかうまくつなげ、全ての世代が顔見知りになれる場所をつくれなかと考えるようになりました。

そうした時、佐世保市の「子育てアイデア実現化奨励金事業」を知り、それを活用して子どもや若い世代の子育て中のお母さん、地域の高齢者などが一緒に料理をしたり、食事をしたりする「多世代交流イベント」を昨年度に3回開催しました。

初回は50人が参加し、一緒にカレーライスを作りました。普段は子どもを見ながら食事をするお母さんたちですが、この日は高齢者の方が代わりに見てくれたので、「久しぶりにゆっくり食べられた!」といった声も上がり、とても喜んでいましたね。また、小・中学生が参加した回では、学生がご飯の炊き方や卵焼きの作り方を高齢者の方に教えてもらい、最後は高齢者の方に代わって重た

い荷物や道具の片付けを率先して行ってくれました。

その他にも「赤ちゃんを抱っこしてもいい?」「ご飯おいしいね」といった会話が料理や食事を通じて生まれ、気兼ねない話でにぎわっていました。イベントが終了した後は、「また開催してほしい」「良い気分転換になった」などのご意見もいただき、お母さんたちも地域の高齢者と顔見知りになれたことで、困ったときに助けてもらえる存在が身近にいることを知る良いきっかけになったのではないのでしょうか。

多世代交流で大切なことは「他人を認めること、尊重すること」だと思っています。それぞれ生き方は違うけど、「違っていいんだ」と分かると安心できますし、誰でも受け入れてくれる地域になることが一番の目標ですね。知らないから声を掛けない、あいさつしないのではなく、常に地域の人の顔が見え、声が聞こえ、子どもから高齢者までが一方通行でなく素直に声を掛け合えるようになってほしいと思います。



多世代交流イベントで卵焼きの作り方を教わる中学生

(取材日 5月20日)

地域版子育て支援 アイデア募集!

市民の皆さんの夢のある子育て支援アイデアを募集します。採用されたアイデアには最大5万円の奨励金を交付し、提案者の方にはそのアイデアを実際に実施していただきます。身近な地域で「夢のある子育て支援アイデア」を実現してみませんか。皆さんからのご応募をお待ちしています。

募集内容 身近な地域で子育て世代を支えていく意識を高めるアイデアや、子育て世代が安心して楽しく子育てができるようになるアイデアなど

奨励金 アイデア1件につき最大5万円

※応募方法など詳しくは市ホームページをご覧ください。

☎子ども政策課 ☎24-1111



令和元年度に実施した「親子で農業体験」の様子

特集に関する問い合わせ 子ども政策課 ☎24-1111